



CD「きみに読む物語」を出した松尾さん  
(sign-pole records提供)

# がん闘病女性にささぐCD

■千葉・中央区■ 母校

の千葉大学がある西千葉を拠点に音楽活動を行い、「西千葉のアイドル」の愛称で親しまれるシンガー・ソングライター・松尾貴臣さん(28)。最新のCD「きみに読む物語」(3曲入り)は、末期がんと闘った30代の女性との出会いに心を動かされ制作したという意欲作だ。

松尾さんはその女性と昨年7月に出会った。千葉大で開かれた、がん患者団体の総会で歌った際、会場に

来ていた。余命半年の宣告を受けていると聞かされた。

松尾さんは総会終了後、同団体のメンバーに「あとわずかしか生きられないという人の話を聞いて、僕は平穏な日々を、ただ何となく過ごしてきただけだと、つくづく思った」と伝えた。するとメンバーから「あなたのそういう思いをぜひ歌にしてほしい」と言われた。

松尾さんが見た女性のブログには、抗がん剤の副作用や、痛み、つらさなどのほか、恋人とのデートの様子が幸せそうにつづられて

## ほのぼの@タウン

いた。もし自分が同じ状況に立たされたら――などと、さまざまな思いに駆られた。

最も大切なものは、愛する人と過ごす時間なのではないか。そんな思いを松尾さんは「大切なことは、僕は君が好きで君は僕が好きそんな単純なこと」と詞につづり、曲を編んだ。

女性は今年4月に亡くなった。松尾さんは、日々を大切に生きるということを教えてくれた女性に感謝の気持ちを含めて、これからも歌い続けるつもりだ。

(宮原さつき)